

図-8 2次系配管の点検等

点検概要

当社の定めた「2次系配管肉厚の管理指針」に基づき、2次系配管 826 箇所について超音波検査（肉厚測定）等を実施する。
（超音波検査 797箇所、内面目視点検 29箇所）

○2次系配管肉厚の管理指針に基づく超音波検査（肉厚測定）部位

	「2次系配管肉厚の管理指針」の点検対象部位	今回点検実施部位
主要点検部位	1,585	493
その他部位	797	304
合計	2,382	797

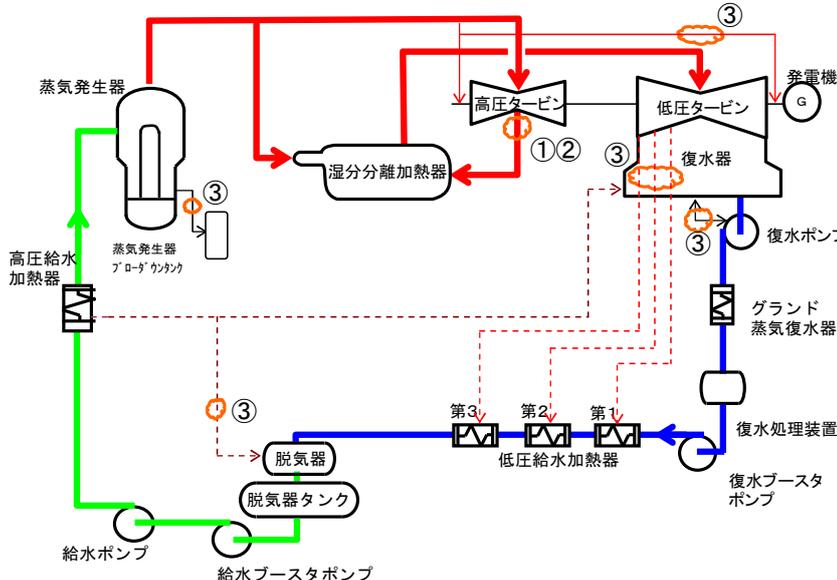
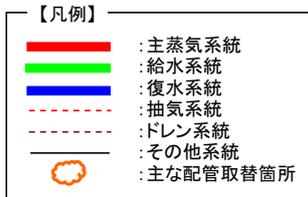
○2次系配管肉厚の管理指針に基づく内面目視点検

高圧排気管の直管部29箇所について、配管内面から目視点検を実施する。
その結果、配管内面に減肉が認められれば、超音波検査（肉厚測定）を実施する。

取替概要

過去の点検において減肉が確認された部位4箇所、配管取替時の作業性を考慮して取り替える部位4箇所、今後の保守作業を考慮した部位86箇所、合計94箇所を耐食性に優れたステンレス鋼もしくは低合金鋼の配管に取り替える。

系統別概要図



【取替理由】

- ① 過去の点検結果で減肉が認められているため、計画的に取り替える箇所（4箇所）
 - ・必要最小厚さとなるまでの期間が10年未満の箇所
炭素鋼 ⇒ ステンレス鋼 2箇所
 - ・必要最小厚さとなるまでの期間が10年以上の箇所
炭素鋼 ⇒ ステンレス鋼 2箇所
 - ② 配管取替による作業性^{※1}を勘案して取り替える箇所（4箇所）
炭素鋼 ⇒ ステンレス鋼 4箇所
 - ③ 配管の保守性^{※2}を考慮して取り替える箇所（86箇所）
 - 炭素鋼 ⇒ ステンレス鋼 57箇所
 - 炭素鋼 ⇒ 低合金鋼 29箇所
- 合計 94箇所

※1 配管取替時に近隣の配管も一緒に取替えた方が作業がし易いため取り替える。

※2 狭隘部で肉厚測定がしづらい小口径配管などについて取り替える。